

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 1 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 14 日(2023.9.14)

【公開番号】特開 2022-44543(P2022-44543A)
【公開日】令和 4 年 3 月 17 日(2022.3.17)
【年通号数】公開公報(特許)2022-048
【出願番号】特願 2021-69255(P2021-69255)
【国際特許分類】

A 2 4 F 40/50(2020.01)

10

A 2 4 F 40/90(2020.01)

【F I】

A 2 4 F 40/50

A 2 4 F 40/90

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 6 日(2023.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 電源と、第 1 コネクタと、エアロゾル源を加熱するためのヒータへの通電制御を行う第 1 プロセッサとを備える吸引器用のコントローラと、

第 2 電源と、前記第 1 電源の充電の際に前記第 1 コネクタに接続される第 2 コネクタと、前記第 2 コネクタを介して前記第 2 電源から前記コントローラへの給電制御を行う第 2 プロセッサとを備える電源装置と、

を有し、

30

前記第 1 プロセッサが前記通電制御を行うことができるように前記第 1 プロセッサの電源端子に印加される第 1 電圧と、前記第 1 プロセッサが前記通電制御を行うことができるように前記第 2 プロセッサの電源端子に印加される第 2 電圧とは互いに異なる、ことを特徴とするエアロゾル発生システム。

【請求項 2】

前記第 1 電圧は、前記第 1 電源と前記第 1 プロセッサの電源端子とを繋ぐ第 1 ラインを介して前記第 1 プロセッサの電源端子に印加される電圧であり、

前記第 2 電圧は、前記第 2 電源と前記第 2 プロセッサの電源端子とを繋ぐ第 2 ラインを介して前記第 2 プロセッサの電源端子に印加される電圧である、ことを特徴とする請求項 1 に記載のエアロゾル発生システム。

40

【請求項 3】

前記電源装置は、前記第 2 電源と前記第 2 プロセッサの電源端子とを繋ぐ第 2 ライン上にリニアレギュレータを備え、

前記リニアレギュレータは、前記第 1 電圧より低い電圧を前記第 2 電圧として出力する、ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項 4】

前記コントローラは、前記第 1 電源と前記第 1 プロセッサの電源端子とを繋ぐ第 1 ライン上において、前記リニアレギュレータより大きい電圧降下を生じさせる部品を含まない、ことを特徴とする請求項 3 に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項 5】

50

前記コントローラは、前記第 1 電源と前記第 1 プロセッサの電源端子とを繋ぐ第 1 ラインと、前記第 1 コネクタと前記第 1 プロセッサの電源端子とを繋ぐ第 3 ラインと、を備え、

前記第 1 プロセッサは、前記第 1 ラインを介して前記第 1 電源から供給される電力、および、前記第 3 ラインを介して前記電源装置から供給される電力のそれぞれで動作するように構成されている、ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項 6】

前記第 1 プロセッサは、

前記第 1 コネクタと前記第 2 コネクタとが接続されていない未接続状態では、前記第 1 ラインを介して前記第 1 電源から供給される電力によって動作し、

前記第 1 コネクタと前記第 2 コネクタとが接続されている接続状態では、前記第 3 ラインを介して前記電源装置から供給される電力によって動作する、ことを特徴とする請求項 5 に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項 7】

前記電源装置からの給電による前記第 1 電源の充電中において、前記第 1 プロセッサおよび前記第 2 プロセッサのうち、前記充電を制御する一方のプロセッサの電源端子に印加される電圧は、他方のプロセッサの電源端子に印加される電圧より高い、ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項 8】

前記電源装置は、前記第 2 電源から供給される電圧を変換して前記第 2 コネクタへ出力する DC / DC コンバータを備える、ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のエアロゾル発生システム。

10

20

30

40

50